

宮城県感染症発生動向調査情報

平成28年10月13日発行

— 2016.10.3～2016.10.9—第40週—

1. 集計

上段は患者発生数、下段は定点当り

疾病	保健所							患者数	宮城県(含む仙台市)					
	仙南	塩釜	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼		患者数	累計	第37週	第38週	第39週	第40週
水痘		1 0.10	1 0.20		1 0.33			2 0.07	5 0.08	1,113				
流行性耳下腺炎	2 0.40	1 0.10					1 0.50	8 0.30	12 0.20	852				
百日咳									0 0.00	21				
感染性胃腸炎	27 5.40	15 1.50	7 1.40	6 3.00	8 2.67	4 0.80		89 3.30	156 2.64	12,431	◎	◎	◎	◎
手足口病	40 8.00	26 2.60	9 1.80	1 0.50	3 1.00	14 2.80	5 2.50	72 2.67	170 2.88	1,835	◎	◎	◎	◎
伝染性紅斑						1 0.20		2 0.07	3 0.05	319				
突発性発疹	3 0.60	3 0.30	2 0.40	1 0.50	2 0.67	3 0.60	1 0.50	16 0.59	31 0.53	1,305	○	○	○	○
ヘルパンギーナ	23 4.60	20 2.00	19 3.80	3 1.50	12 4.00	19 3.80	5 2.50	71 2.63	172 2.92	3,636	◎	◎	◎	◎
インフルエンザ						1 0.13		8 0.18	9 0.09	28,076				
咽頭結膜熱		1 0.10	1 0.20						2 0.03	674				
流行性角結膜炎		1 0.33						2 0.33	3 0.25	96				
急性出血性結膜炎									0 0.00	0				
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	28 5.60	14 1.40	3 0.60	1 0.50	5 1.67	51 10.20		29 1.07	131 2.22	7,779	◎	◎	◎	◎
細菌性髄膜炎(真菌性を含む)									0 0.00	9				
無菌性髄膜炎									0 0.00	6				
マイコプラズマ肺炎	6 6.00		4 4.00	1 1.00		1 1.00	3 3.00	10 2.00	25 2.08	338				○
クラミア肺炎(オウム病は除く)									0 0.00	0				
RSウイルス感染症	49 9.80	27 2.70	14 2.80	10 5.00	4 1.33	18 3.60		127 4.70	249 4.22	1,307	◎	◎	◎	◎
感染性胃腸炎(ロタウイルス)									0 0.00	14				
拡張疾病	マイコプラズマ肺炎(小児科)	28	4	10		2	1		21	◎: 流行の変化について、今後の情報に十分注意 ○: 発生または流行について、今後の情報に留意 レ: 発生が少なくなっている傾向				
	川崎病								1					
	不明発疹症								3					

2. 全数報告疾病

1類感染症: 報告なし

2類感染症: 結核

大崎管内 女児2名*

仙南管内 男性1名

3類感染症: 腸管出血性大腸菌感染症(O157)

登米管内 女児1名*

仙台管内 女性1名

腸管出血性大腸菌感染症(O26)

仙台管内 女性1名

腸管出血性大腸菌感染症(O145)

大崎管内 女性1名

腸管出血性大腸菌感染症(O不明)

大崎管内 女性1名

4類感染症: 報告なし

5類感染症: 播種性クリプトコックス症

石巻管内 女性1名

ジアルジア症

仙台管内 男性1名

後天性免疫不全症候群

仙台管内 男性1名(第39週)

劇症型溶血性レンサ球菌感染症

仙台管内 女性1名

*女児は6歳未満

3. 宮城県感染症対策委員会情報解析部会

【定点把握対象疾患】

〔ヘルパンギーナ〕

仙南・塩釜・大崎・登米・石巻・気仙沼・仙台管内で警報継続中

〔手足口病〕

仙南・塩釜管内で警報継続中

〔A群溶血性レンサ球菌感染症〕

石巻管内で警報値を超えた

【病原体検出情報】

～宮城県保健環境センター～

腸管出血性大腸菌感染症患者より

大崎管内のO145関連 第40週採取分 O145 1件

～仙台医療センターウイルスセンター～

	確定	中間報告	
	第37週採取分 (9.12～9.18)	第38週採取分 (9.19～9.25)	第39週採取分 (9.26～10.2)
RSウイルス	8件	0件	2件
アデノウイルス	0件	0件	1件
エンテロウイルス	2件	1件	2件
サイトメガロウイルス	1件	1件	0件
パラインフルエンザウイルス1型	6件	0件	1件
パラインフルエンザウイルス3型	1件	0件	0件
パラインフルエンザウイルス4型	4件	3件	3件

4. 今週のコメント

【RSウイルス感染症】

先週同様、患者報告数が増加傾向となっており、本格的な流行期に入ったと考えられます。例年と比較し、早期の流行となっています。今週、県内の患者定点より報告のあった患者の9割以上が0～4歳の小児でした。主な感染経路はヒト-ヒト感染となりますので、小児の集団生活の場となる保育園や幼稚園での感染予防対策に、特に注意願います。

【A群溶血性レンサ球菌感染症】

例年、この時期から冬にかけて患者が増加する傾向がみられる感染症です。今年も先週より患者報告数が増加傾向となっており、今後の動向に注意が必要です。咽頭炎や発熱などの症状が出た際には早めの受診を心がけ、感染予防に努めてください。

宮城県保健環境センター(宮城県結核・感染症情報センター)
電話 022-257-7228 FAX 022-256-3362
HPアドレス: <http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/hokans//kansan-center.html>

宮城県定点週報告対象疾病の推移

